

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2026年 2月20日 No.70

2026JR総連春闘 私たちを取り巻く厳しい情勢を認識し、突破するためにJR東労組への結集を呼びかけよう！

■物価 2026年度も物価上昇は続く！

2025年の消費者物価上昇率は生鮮食品を除いて3.1%上昇となり、2020年に比べ12%の上昇となった。2026年は前半に2%を下回る予想となっている。

■定期昇給 能力昇給だけでは物価上昇に追いつかない！

2025年は定期昇給・所定昇給額で平均1.78%、平均6,389円となったが、2026年は能力昇給の導入により、平均1%程度になる見込みとなっている。

重要！ 能力昇給は物価上昇に届かない！ベアがなければ生活向上はない！！

ベアを抑制するかのような主張が行われる！

■経営姿勢

全社員の職務能力給を1万円以上増額しベースが引き上げること、また他の手当等の平均支給額も大幅に増額となることを踏まえ検討していく考えである。【JR東日本『新賃金・夏季手当について』より抜粋】

修繕費増は賃上げ抑制の理由にされかねない！

■決算状況

2026年度の修繕費を増額し、2026年度末までに、コロナ禍の影響を全て取り戻すべく交換・修繕を実施【JR東日本『一連の輸送トラブルに対する弊社代表取締役社長コメント(別紙)』より抜粋】

* JR東日本はコロナ禍において、修繕費を2020年からの3年間でおよそ800億円削減

【ある支社社友会の掲示から抜粋】

コロナ禍時代よりこんなに修繕費が削減されていたのか、それが一因なのであれば第3四半期決算が増収増益の中、早期に増額すべき

重要！ 労働実感は過去最高！営業収益も過去最高！出さない理由を許すな！

■経団連

ベア・期末手当に評価による差が求められた！

経団連は、「2026年版 春季労使交渉の手引き」を発行し、ベースアップの検討事項として「仕事・役割・貢献度を基軸とする重点配分として人事評価・成果等に応じた査定配分を拡大する」と明記した。賞与についても「社員個人の人事評価・業績を支給水準に適切に反映することで、働き手のエンゲージ向上を図ることが重要」と明記した。

重要！ 会社評価による格差が付けられたベア・夏季手当に納得感はない！